

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（3日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	島根県益田市	代表者名	山本 浩章
担当者部署	政策企画局政策企画課行革推進室	連絡先電話番号	0856-31-0121
担当者役職	室長	担当者氏名	岩井 加恵
住所	698-8650 島根県益田市常盤町1番1号		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村上 文洋
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	この度の派遣依頼は、本来なら職員研修への支援が主だが、それ以外の相談についても快く応じてくださり、都度、的確なアドバイスをいただいている。また、アドバイスにおいては、他自治体の先進事例や取組、国の動向や今後の対策など、必要に応じて適宜情報をくださり大変助かっている。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2022年1月25日	10時00分	11時00分		60
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員	人数 2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	DX推進には、その本質や意義を正しく理解することが不可欠である。 また、DXとは特定部署だけの話ではなく、市全体での取組が必要となることから、これらを正しく理解するため、職員研修を行うこととしている。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	意識改革を目指す。(研修を受講する職員すべてがDXを正しく理解し、自分事として捉え、自ら取組を進める状態)	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 2/4(金) 開催予定の職員研修に関する詳細の打合せ(内容、タイムスケジュール) 手続オンライン化にかかるデータ連携システムの導入について相談。 本市で今後進めるべきDXの優先順位に関するご助言。 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 研修については十分な打ち合わせを行うことができた。 手続オンライン化等今後進めるDXについては、先進事例を参考にしながら優先順位を付けて取り組む必要あり。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物ではできていない

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい
事業の最終的な目指す姿	④予算以外で、今後取組む事項がある 首長を初めとする全職員がDXを正しく理解し、自分事として捉えながらそれぞれが取組む。

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

